

クラリネットデュオ

加藤京子

Yoko Yokota

横田揺子

Kyoko Kato

PROGRAM

C.Ph.E. バッハ

2本のクラリネットのための二重奏曲
(Wq 142 [H 636])

Carl Philipp Emanuel Bach :

Duett für zwei Klarinetten (Wq 142 [H 636])

G.F. フックス

二重奏曲

Georg Friedrich Fuchs : Duo

B.H. クルーセル

3つの二重奏曲 Op.6 第3番

Bernhard Henrik Crusel : 3 Duos Op.6, No3

F. メンデルスゾーン

演奏会用小品 第1番 Op.113

Felix Mendelssohn-Bartholdys :

Konzertstück Nr.1 Op.113

三善晃

2本のクラリネットのための彩夢

Akira Miyoshi : Rkve Colorix pour 2 Clarinettes

R. シューマン / J. ミヒヤエルス編

5つのカノン風小品 (Op. 56より)

Robert Schumann / Arr. Jost Michaels :

5 kanonische Studien aus Op.56

D. ショスタコーヴィッチ

5つの小品

Dimitri Shostakovich : Five Pieces



古楽器・現代楽器による
クラリネットの時間旅行
Vol. 2

© Ayane Shindo

12.17

2022 15:00開演
Sat [14:00開場]

会場 京都・青山音楽記念館〈バロックザール〉

入場料 一般 3,000円 学生 1,000円 ※当日各500円増〈全席自由〉

※学生は小学生～大学院生となります。学生証等のご提示をお願いする場合がございます。※未就学児の入場はご遠慮ください。

※演奏順、曲目は都合により変更になる場合がございますので、ご了承ください。

チケット
販売

青山音楽記念館 / TEL : 075-393-0011 ※セブンイレブン等でも購入可

チケットぴあ / <https://t.pia.jp/> (Pコード 219-914)

お問合せ

Mail / yychambermusic@gmail.com

青山音楽記念館 / TEL : 075-393-0011 〒615-8282 京都市西京区松尾大利町9-1

後援

一般社団法人日本クラリネット協会 / 京都新聞

ピアノ 深見まどか
Madoka Fukami



© Sumiyo Ida

バロックザール
Barocksaal
京都 青山音楽記念館

Kyoko
Kato

Yoko
Yokota

クラリネットデュオ 加藤京子 & 横田揺子

～古楽器・現代楽器によるクラリネットの時間旅行～ Vol.2

© Ayane Shindo

2018年に開催された「古楽器・現代楽器によるクラリネットの時間旅行」と題したデュオリサイタルのVol.1から早4年、この間には多くの出来事があり、人のご縁や仲間との繋がり大切さを改めて感じた時間となりました。私達も昨年、念願でありました古楽器だけの二重奏作品の録音に挑戦、2022年秋に発表することが叶いました。

今回のVol.2となります本公演も、バロックから現代までの2本のクラリネットのための作品を、時代を旅行する形で取り上げています。柔らかい柘植材で作られた古典クラリネットは、青山バロックザールの雰囲気と響きにぴったりです。また現代楽器での二重奏では日本を代表する作曲家、三善晃の「彩夢」、新進気鋭のピアニスト深見まどかさんをお迎えし、メンデルスゾーンの演奏会小品やショスタコーヴィチの劇音楽からの5つの小品など、様々な楽曲でクラリネットの持つ多彩な色合いをお楽しみいただけます。作品の良さと共に時間旅行を皆様にお届けできれば嬉しく存じます。皆様のお越しをお待ちしております。

(加藤京子・横田揺子)

加藤 京子 (クラリネット) Kyoko KATO (Clarinet)

京都市出身。武蔵野音楽大学、同大学院修了。NTTDコモ奨学金受賞。ミュンヘン国立音楽大学に留学、同大学院修了。マスターのディプロマを取得。EuroArtPrahaよりCDリリース。文化庁芸術祭参加、音楽祭招待、現代作曲家の作品初演など国内外でリサイタル、室内楽に多数出演。チェコZIROVNICIのクラリネットフェスティバル、ミュンヘン大学、パリ・ブチマルメゾン城での招待演奏で好評を得る。初リサイタルでは「音楽の友」に高評が掲載。ベルリンフィル元首席、U.ローデンホイザー氏のリサイタルで共演。大阪音大研究助成によるリサイタル6人の作曲家全作品初演、CD制作、他、協奏曲ソリストにも招待される。帰国後、2008年からクラリネット室内楽を紹介する「KYOの響」を主宰し、2019年3月には第5回目の演奏会を行いシリーズとして続けている。またミュンヘン留学時代からの友人、横田揺子氏と2本のクラリネット曲を紹介してきている。クラリネットデュオリサイタルの為に横田氏と共にベルリンフィル首席奏者W. フックス氏のレッスンを受講。これまでにU.ローデンホイザー、K.ベルケッシュ、山本正治、黒岩義臣、柳瀬洋、ピアノを江口洋子氏に師事。2022年「クラリネットとピアノ編曲アルバム」リリース、レコード芸術誌準特選盤に選ばれる。関西現代音楽交流協会演奏家会員、一般社団法人日本クラリネット協会会員。2018年から古楽器も始め、テレマン室内合奏団の演奏会に出演している。京都橘大学、京都音楽院で課外活動の指導にあたる他、日本クラシック音楽コンクール他コンクール審査員を務める。2020年、福祉音楽パートナー指導者養成コースを終了。

横田 揺子 (クラリネット) Yoko YOKOTA (Clarinet)

東京藝術大学音楽学部卒業後、渡欧、ミュンヘン国立音楽大学にてマイスターディプロム、バーゼル市立音楽院にてコンツェルトディプロムを取得。クラリネットを小林利彰、村井祐見、山本正治、G.シュタルケ、F.ペンダの各氏に、室内楽をG.ヴィス、S.アッツォリニ、E.アッピール、R.グライス-アルミンの各氏に師事。ヤマハ新人演奏会出演。2005年東京文化会館にて日本演奏連盟・文化庁主催のソロリサイタル、2007年かつしかシンフォニーヒルズ、宜野座村がらまんホール(沖縄)、2021年スペースDo(東京)、ASIVI(鹿児島)にて室内楽リサイタル開催。アンサンブルlogtsの一員として熊本県立劇場演奏家派遣アウトリーチ事業に参加、2013年CD「音楽定食」リリース。トリオダンジュSUAVEを主宰、オーストラリアのアデレード国際現代音楽祭、o'zAsiaFestival、オーストラリア・ダブルリードソサイエティ・コンフェレンス、韓国の中央大学校、ソウルオリンパスホールにて招聘演奏およびワークショップを行い、2012年CD「カミーノ」リリース。2016年ポーランドのヴロツワフで開催されたフェスティバル「クラリマニア」に出演、邦人作品を紹介。加藤京子氏とのクラリネットデュオ、アンサンブルlogts等の室内楽を中心に活動するかたわら、古楽器演奏にも携わり、クラシカルプレイヤーズ東京、リベラ・クラシカ、バッハ・コレギウム・ジャパン、テレマン協会等の演奏会に参加。アンサンブル、ソロ等のコンクール審査員、マスタークラスの独日通訳等の活動にも携わる。日本管楽芸術学会員、日本音楽表現学会員、一般社団法人日本クラリネット協会常任理事、東京藝術大学グローバルサポートセンター特任准教授。

深見 まどか (ピアノ) Madoka FUKAMI (Piano)

京都市生まれ。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校、同大学音楽学部を経て、パリ国立高等音楽院修士課程ピアノ科、古楽科、室内楽科を首席で修了。青山音楽賞新人賞、ロンティボー国際コンクール5位&最優秀ラヴェル作品演奏賞、プゾーニ国際コンクールファイナリスト&最優秀現代音楽作品演奏賞など、多数受賞。2019年、「ドビュッシーピアノ作品全曲演奏チクルス」(ヤマハミュージックジャパン主催)を成功させた。2021年、NHK-Eテレ「クラシック音楽館」では松平頼則「主題と変奏」のソリストを務めた。その他、NHK-FM「リサイタルパッション」、Radio France/France Musique、RTBF Musiq3、France2などのTV・ラジオ番組に出演。これまでにパリ室内管、ポルト国立管、ベルギー王立ワロニー管、藝大フィル、東京フィル等と共演。CD「ドビュッシー12の練習曲/ラヴェル鏡」「ヴィルトオーゾ」は2枚共に「レコード芸術 特選盤」に選定された。現在は国内外で演奏活動を行いながら、エコールノルマル音楽院、オーベルヴィリエ地方音楽院、大阪教育大学音楽表現コースにて後進の育成にも力を注いでいる。

© Mak Toyama

バロックザール
Barocksaal
京都 青山音楽記念館

お問い合わせ
tel.075-393-0011
9:30~18:00 月・火 休館
〒615-8282 京都市西京区松尾大町9-1
<https://barocksaal.com/>



阪急電車嵐山線「上桂」駅下車西へ300メートル
ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。